

連合福島第27回年次大会開かれる

福島県の復旧・復興に使命感を持って 責任と役割を果たして行こう！

連合福島の第27回年次大会は10月25日福島市のグリーンパレスで開催され、役員・代議員など200名が出席した。冒頭今泉裕連合福島会長は「東日本大震災から3年7ヵ月が経過した。被災者の心情として、復旧・復興は総てを元に戻して欲しいということだと思う。連合福島としてこれからも、福島県の復旧・復興に使命感を持って責任と役割を果たして行きたい。」また、先般実施された知事選について「内堀新知事には信頼される知事、信頼される県政執行を期待したいし、連合福島としても新しい知事を支えていきたい。」と挨拶した。

また、ご来賓として連合本部から古賀会長や佐藤雄平知事にお越し頂き、佐藤雄平知事は来賓挨拶で「これまで2期8年間皆さんに大変お世話になりました。」と感謝の意を表した。

更には、午後の部において、内堀新知事も駆けつけ、役員・代議員に対して選挙戦において「大変お世話になりました。」と御礼を述べた。

2015年度の運動方針に関しては、電機連合生亀代議員、JAM 大竹代議員から組織拡大につ

内堀雅雄新福島県知事

いての取り組み方や、地域ミニマム設定額の県民への浸透性、更には大衆を喚起するような行動の必要性などについて意見・質問が出されたが、執行部が答弁した後、議案は満場一致で承認された。

役員改選においては、6月の臨時大会以降空席だった事務局長に、加藤光一副事務局長（電力総連）が就任し、副事務局長には組織部次長と



真剣に傾聴する代議員の皆さん



主催者を代表して挨拶する今泉裕連合福島会長



古賀伸明連合会長



佐藤雄平福島県知事

最後に、大会宣言並びに第18回統一地方選挙勝利の特別決議が採択された後、今泉会長のガンバロー三唱をもって第27回年次大会は閉会となった。